



田尻町議会だより

たじりの

9042

風

Vol.119

令和元(2019)年
6月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



4月21日田尻町議会議員一般選挙で選出されました よろしくお祈りします

前列左から小川雄司議員、原明美議員、東小夜子議員、吉開育子議員、仁部順行議員
後列左から射場隆裕議員、大門久恭議員、金田裕治議員、中川達夫議員、坂口実議員

議長就任挨拶

議長 大門久恭

町民の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

私は、去る5月10日の臨時議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長に就任いたしました。身に余る光栄と感激し、同時に責任の重さを痛感しております。もとより微力ではございますが、議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に努め、より開かれた議会となるよう最善を尽くしていく決意でございます。特に今年度は大阪府内の町村（10団体）の議長会の会長と、大阪南部地区（忠岡町・熊取町・岬町・田尻町）の議長会の会長にもなる当たり年であり、早速5月下旬に全国町村議長会会議に大阪の代表として上京することとなりました。

近年、自然災害の大きさは計り知れない被害をもたらします。その準備を怠ることなく、より安全で安心な田尻町にするため、私のモットー“小さなことからコツコツと”のごとく一層努力してまいります。

町民の皆様におかれましては、今後とも町議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 複数回の避難訓練の実施について
- 坂口 実 議員 1. 大阪万博開催協力支援について
2. 議員の兼業禁止について
- 金田 裕治 議員 1. 町長公約の進捗について
- 小川 雄司 議員 1. 「田尻町地域防災拠点」について
2. 駅上広場に津波から6時間避難に耐えられる施設づくりについて
3. 福祉タクシーの実施について
- 吉開 育子 議員 1. 全世帯を対象にした0～2歳児の保育料無償化について
2. 介護保険料の独自減免について
3. 小・中学校の体育館へのエアコン設置について
- 仁部 順行 議員 1. 小中学校の児童生徒の修学旅行費用及び教材の無償化について
- 東 小夜子 議員 1. 田尻川の危険箇所へのフェンス設置について
2. 風疹の拡大防止について
3. 保育士の確保について
4. 地区防災計画について
- 中川 達夫 議員 1. 施政方針での空き家対策について

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 複数回の避難訓練実施を

答 研修会やHUG訓練などの机上模擬体験ゲームを支援する

問 平成24年3月定例議会で一般質問した際、町の回答は避難訓練は年1回でなく複数回実施するよう進めるとあったが、実施されていない。数十年以内に東南海・南海地震が起こる確率が高いと言われており、明日にでも大規模災害に遭ってもおかしくない。自主防災組織の進展はどうなっているのか。台風21号の被害で防災意識が高まっている今こそ、地区会にもっと積極的に働きかけるなどして、今年こそ避難訓練を複数回実施するべきではないか。

答 危機管理課長 これまで1年に同じ避難訓練

を複数回実施はしていないが、避難所の運営訓練や各種研修会等継続的に実施している。それらにより防災に関する正しい知識や意識を持って、次年度の避難訓練に参加していただくのが効果的であると考えている。「吉見・嘉祥寺・りんくう」3地区にそれぞれ自主防災会が存在している。りんくう地区は、年1回独自で訓練を行っているが、それ以外は町全体の避難訓練や研修会などに参加している状況。自主防災会の皆さんと話し合いを行い、秋ごろに予定している防災訓練や研修会・HUG訓練などの机上模擬体験ゲーム等実施するよう引き続き支援していく。





坂口 実 議員

問 大阪・関西万博へ協力支援を

答 今後、検討を進めたい

問 2025年、日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催決定された。官民一体となり、企業・個人で盛り上げていこうではありませんか。田尻独自の協力支援を考えてはどうか

答 **企画人権課長** 日本博覧会協会が設立され、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、本町として万博開催がもたらす様々な要素を将来のまちづくりに活かすという視点で取組を検討する必要があります。具体的には今後検討を進めたい。

問 以前の万博で協力支援はあったか。

答 **企画人権課長** 1990（平成2）年開催の大阪花と緑の博覧会、大阪府のパビリオン「银杏館」の「好きやねんプラザ」において、市町村の日の一日を利用

し、玉ねぎやガイド誌の配布など、田尻町のPR活動をおこなった。

問 議員の兼業禁止を問う

答 27年度から30年度は該当ない

問 以前より「議員さんところが、町から仕事をもらっている。そんなことが可能か。おかしい。」と類似の質問が複数回ある。地方自治法第92条の2の議員の兼業禁止について、請負関係はあったかなかったか。また議員の配偶者や子弟等の親族によるものはあったかなかったか。

答 **総務課長** 地方自治法第92条の2で議員の請負禁止が規定されているとおり、平成27年度から30年度の指名登録業者は、議員個人や議員が役員となる法人の登録はない。また議員の親族との請負についても、規定対象外ではあるが該当はない。

問 近隣某市では、議員等の請負関係はあると確認している。議員の特権と言わざるを得ない。それを禁止する政治倫理条例の制定がない。その過去はないか。

答 **総務課長** 在職中の記憶ではない。



金田 裕治 議員

問 町長公約の進捗を問う

答 進めているが、時間のかかる公約もある

問 町長の任期も残り半年となったが、公約の「インフルエンザ予防接種無償化」「府外高校へ進学者の無償化」「地区会加入者へのごみ袋無償配布」の進捗はどうなっているのか。

答 **健康課長** インフルエンザ予防接種は健康被害等のリスクがあること、予防効果が低いことなどから町の事業として進めるのは慎重に検討したい。

学事課長 府外高校進学者への補助については、大阪府議会への要望を毎年行っており、今後も国・

府の動向を注視していきたい。

企画人権課長 ゴミ袋無償配布については先行して実施している泉佐野市での実績に明確な効果が見られないので、導入していない。

問 3年間で実現できていない公約があることについてどう考えているのか。

答 **町長** 住民税10%減税など実現できた公約もある。一方でもう少し時間をかけて検討しなければならない公約もある。





小川 雄司 議員

問 駅上広場の備蓄されている
テント数を増やすべき

答 今後検討していきたい

問 津波避難訓練の一時避難場所である駅上広場に備蓄されているテントは6張りにすぎず、避難者全員が到底、夜露、暑さ寒さに耐えられるものではない。「何もないところには逃げない」との声もある。備蓄テント数を増やすべき。

答 **危機管理課長** 住民のみなさんが臨機応変に対応し、自らの命を守っていただきたい。テントの数については今後検討していきたい。

問 田尻町には福祉タクシーの
導入が適切

答 コミバス事業の利用状況を見据えたい

問 現在、タクシーを利用して町内4つの診療所に通院している高齢者も少なくない。5月から運行するコミュニティーバスは診療所前にはひとつも停車する計画にはなっていない。過去に町内巡回車両が廃止になったことを考えると田尻町には福祉タクシー導入が適切と考える。

答 **都市政策課長** 5月から運行するコミバスの利用状況を見据えたい。



吉開 育子 議員

問 低所得者の介護保険料
「軽減」の実施を

答 実施しない

問 田尻町の第7期介護保険料は府内で2番目に高い。府内41の保険者の中で34の保険者が独自で低所得者への保険料「軽減」を行っている。枚方市では4つの条件にすべて当てはまれば、第2段階または第3段階の保険料の方が第1段階の保険料に軽減される。田尻町の第2段階・第3段階の保険料の方に当てはめると、月額5070円が3380円に軽減できる。進んだ自治体を参考に田尻町も独自の軽減の実施を求める。

答 **町長** 相互に支えあう保険制度であり、段階に応じて措置されている。

福祉課長 他の被保険者の負担が増えることにつながるので実施しない。

問 すべての0～2歳児を保育料
無償化に

答 非課税家庭を対象とする

問 栗山町長は、町独自で昨年4月から3～5歳児の幼児教育・保育の無償化を給食費も含めて実施した。しかし、0～2歳は、住民税非課税世帯だけが対象で今年10月から無償化を実施というのは不公平である。3～5歳と同じように町独自で0～2歳児も給食費も含めてすべての対象者を保育料無償化すべきである。

答 **こども課長** 保育ニーズが高まり、結果として保育所運営が立ち行かなくなる恐れもあるので、非課税世帯に限らせていただきたい。





仁部 順行 議員

問 小中学校の修学旅行費用及び教材の無償化について

答 研究していく

問 平成31年度施政方針において「たじり8000人の大家族」のまちづくりの様々な施策が示されている。さらなる施策として将来の田尻を担う子ども達の健全な育成とその支援の取り組みを強く進めて行くことが必要と感じている。毎年、小・中学校において実施している修学旅行や教材の保護者負担については、家庭の経済的事情による援助がされているが、気兼ねなく等しく就学の支援を図るため、本町の小中学校の保護者が負担する修学旅行費並びに教材の無償化の実施を求める。

答 学事課長 全ての児童生徒に対する修学旅行費等の保護者負担について応能負担と就学援助とのあり方について、研究していく。



東 小夜子 議員

問 田尻川にフェンス設置を

答 警察や大阪府と協議し前向きに検討する

問 公民館前の田尻川にフェンスがない箇所があり危険である。転落防止策としてフェンス設置を求める。

答 都市政策課長 防護柵がない部分は、交差点に車が進入する際、防護柵で死角になるため交通安全上の配慮である。河川への転落を防ぎつつ見通しが阻害されないか、設置することによって別の危険が生じないかも含めて、泉佐野警察並びに大阪府と協議し設置を前向きに検討する。

問 風疹の拡大防止は

答 4月から実施する

問 39歳から56歳の男性の抗体検査と予防接種が今春から2021年度までの3年間原則無償化される。田尻町の取り組みは。

答 健康課長 4月から実施する。対象者にクーポン券を送付する。





問 施政方針での空き家対策を問う

答 空き家対策計画を策定

問 空き家の増加にともない問題視され、国が平成27年5月に空き家対策措置法を施行した。田尻町での空き家の現状と対策の取り組みとは。

答 **都市政策課長** 空き家は74戸で、うち特定空き家と思われる戸数は6戸である。放置すると環境悪化が懸念されるため、地域の安全確保や生活環境、景観の保全、管理不良の予防や利用活用、除却などの対策を推進していく「田尻町空き家対策計画」を今年度中に策定し進めていく。空き家所有者にはセミナーなど開き、啓発していく。



審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部順行	明貝一平	吉開育子	小川雄司	東小夜子	中川達夫	大門久恭	小林健治	金田裕治	坂口実
工事請負契約変更の件	原案可決	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度田尻町一般会計補正予算(第6号)の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○
平成31年度田尻町一般会計予算の件	原案可決	○	議	修正	修正	○	修正	修正	○	○	○
平成31年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○
平成31年度田尻町一般会計補正予算(第1号)の件	原案可決	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし 修正…修正案に賛成

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁 部 順 行

審査結果、並びに経過報告（3月7日開催）

◎田尻町附属機関条例一部改正の件

（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 田尻町附属機関条例中、附属機関の欄に田尻町空き家等対策審議会を追記するとあるが、実際に、潰したくても費用の問題でできない空き家がある場合どうしていくのか。

答 田尻町空き家等対策審議会は、倒壊のおそれのある危険住宅を認定し、認定した空き家に対して問題を審議していく場である。今後そのような問題も協議していく。

問 今現在、町民の皆さんが不安に感じている空き家に対してどのような対応をしているのか。

答 今は法的に町が勝手に空き家の処分等をできないので、所有者を調べて連絡を取り、対応を求めている。

◎田尻町職員定数条例一部改正の件

（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 現在田尻町で水道事業に配置されている4名が、本年4月より大阪広域水道企業団の経営統合のもと、田尻水道センターに移管するとのことであるが、移管において新しい仕事も増えると懸念されるが4名体制で大丈夫だと考えているか。

答 田尻水道センターとしては4名体制であるが、田尻町と企業団の本部がトータル的に事業を運営していくとイメージしていただきたい。

◎職員の勤務時間に関する条例一部改正の件

（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 人事院規則において、本年4月から命令できる超過勤務時間の上限が360時間／年とされたことを受け、本町の規定についても所要の改正を行うとのことであるが、本町においては、360時間を超えて仕事をされたという実績はあるのか。

答 本町においては、法制化前から超勤の取得時間を1人あたり100時間／年以内という取組みを先行的に行っており、そのような事例はない。

◎平成30年度田尻町一般会計補正予算（第6号）の件

【全会一致で可決】

問 退職手当が計上されているが、その内訳は。

答 早期退職制度による者が1名、自己都合によるものが2名である。

◎防災行政無線放送の住宅内『戸別受信機』の無償貸与を求める請願

（請願） 【全会一致で可決】

問 聞き取りづらい防災行政無線放送の問題を解決するために、総務省が自治体に財政支援を行う戸別受信機の全戸配備を求めるとのことであるが、請願の対象としている戸別受信機の機種は、紹介議員が提示している機種に限られているのか。

答 機種については、国からの財政負担の対象となる機能の規準があり、それを満たしているものであれば、別のものでもよい。

問 必ず全戸配布なのか。希望する世帯だけでもよいのでは。また、機器の維持管理が難しいとか、故障や紛失が生じた場合はどうなるのか。

答 申請であるので、いらないという方も出るかもしれないが、ぜひ防災の観点から町の情報を得るためという目的で、全戸配布を進めていきたい。故障などに関しては、自己責任での対応を考えている。



田尻町議会のチョット教えて



特定空き家ってナニ??



近年、適切な管理がなされていない空き家が地方都市を中心に増加しており、地域の防災・衛生・景観などに深刻な影響を及ぼしています。そのような空き家から、生活環境を守り、空き家の活用を促進する目的で、平成26年に『空家等対策の推進に関する特別措置法』という法律が制定されました。この法の中で、放置すれば危険な状態の空き家などを「特定空家等」と定義し、条件付きで市町村が所有者特定のための立入調査をしたり、助言や指導の段階を踏んだ後、市町村長の権限で行政代執行によって除却や修繕などの必要な措置を行うことを認めています。

文教厚生常任委員会

委員長 大門 久 恭

審査結果、並びに経過報告（3月8日開催）

◎田尻町国民健康保険条例等一部改正の件

（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 平成30年度税制改正大綱及び国民健康保険法施行令の改正を踏まえ、保険料の賦課限度額及法定軽減について見直しを図るとのことであるが、この改正により軽減対象の世帯数等に変化はあるのか。

答 世帯数等の変化はない。

◎田尻町放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件

（条例の一部改正） 【全会一致で可決】

問 学校教育法の改正により専門職大学の制度が設けられたとのことであるが、専門職大学とはどのようなものなのか。

答 なりたい職業に直結した理論と実践を学べる新しいタイプの大学とのことである。この制度は平成31年4月1日に施行、新年度以降に設置されるものなので、この事業において今年度新たにここから職員を採用するというものではない。

◎平成30年度田尻町一般会計補正予算（第6号）の件

【賛成3、反対1で可決】

問 家庭ごみの収集運搬について、全町的に民間委託せず、職員を正規雇用して町直営で継続すべきではなかったのか。

答 民間委託することにより、経費の削減が図られるとともに、将来に向けてし尿くみ取り業務の安定化も図れるといった理由から委託という方向に至った。

問 民間委託することで、町の正規職員がたじり安心サポート業務を新たに実施できるようになったとのことであるが、ニーズ調査は行ったのか。

答 福祉の業務を担当していたおり、高齢者等からゴミ出しの不便さを訴える声をよく聞いていたため、ニーズはあると考えている。

問 歴史館については、長らく工事の入札にも至らずにおり、歴史館が町の負の遺産というレッテルを貼られてしまいそうで心配である。もう一度頑張っ手て手を加える等をして、町のシンボルにし

ていってほしい。

答 現在さまざまな工夫を凝らしながら適正で円滑な工事の入札を行えるよう努めている。その後の歴史館の活用等に関しては、状況に応じ皆様と諮っていきたいと思っている。

反対討論 家庭ごみ等収集運搬業務の民間委託については、契約に縛られたり、業務量増加や災害時への対応など、サービス維持について懸念がある。町の正職員であれば指示や命令ができることも、民間委託となれば町が直接指導できなくなることから反対である。

賛成討論 家庭ごみ等収集運搬業務の民間委託によって、町で雇用していた非正規職員が民間で正職員として雇用されることになり、同一労働同一賃金の観点からも望ましいと考える。また、将来に向けてし尿くみ取り業務の安定化が図られることから賛成する。

その他においても、新しい事業への取組みや、伝統文化の伝承にも努めている補正予算であることから賛成とする。

◎平成30年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第3号）の件

【全会一致で可決】

問 介護認定は適正に行われているのか。不服審査等の申立てもあったのではないのか。

答 そのような申立てはなかった。サービス利用者の介護度に変化が生じた場合、利用できるサービスが変更になることもある。ケアマネージャーがその利用者の状況に適したケアプランを作成してるが、ケアプランに関して相談があれば、いつでもお受けする。

予算特別委員会

委員長 坂口 実

審査結果、並びに経過報告（3月11日開催）

◎平成31年度田尻町一般会計予算の件

・53億8,900万円 【原案賛成5、修正案に賛成4】

歳入

◎平成31年度田尻町一般会計予算の件

問 町独自で新しい事業を始めるにあたり、町単

独のものが増えている。田尻町は財政が豊かではあるが、田尻町民であると同時に大阪府民、日本国民でもあるので、国庫補助金など、取れるものはまず取りにいったから事業を行うという心構えがあるかお聞きしたい。

答 当然、あるべき制度は有効活用していくし、国、府の制度を熟知して、それをうまく使って町の施策に反映させていくつもりである。

歳出

◎平成31年度田尻町一般会計予算の修正案提出について

修正案の主旨 コミュニティバス運行負担金1,000万円を削り、その1,000万円を予備費の支出に積み増しすることで収支調整を図る。

町は泉佐野市と共同でコミュニティバスを導入することであるが、この件について昨年度町議会が全会一致で決議した附帯決議を重視すべきである。栗山町政は、附帯決議で課題とした2つの条件を反故にしたことで、コミュニティバスの運行が町民の要望を踏まえた適正なものになっておらず、また将来の持続性もまったく担保されなかったことを最大の不満とする。

問 もし仮に、5月からコミュニティバスが運行できなくなった場合、泉佐野市との関係、特に違約金等についてはどのようになるのか。

答 コミュニティバスの運行事業については、昨年の9月議会、全員協議会で諮らせていただいた後に、泉佐野市及び南海ウイングバスとの3社協定を行った。よって現在バスは製作に取りかかりしておりほぼ完成の段階までできている。町の事由によって協定を解除するとすると、最大限に考えて、車両製作費2,500万円がすべて田尻町の負担となる可能性が非常に高い。



また泉佐野市及び南海ウイングバスとお互いの信頼関係のもとで事業を進めてきたものであるので、両者との信頼関係にも問題が出てくると考えている。

原案賛成の討論 今回のコミュニティバスは車体が大きいバスであるので、町内で走れるルートは限られている。しかしこれを基幹ルートとしつつ、今後町で小さなルートを考えてこの基幹ルートに繋げるように補完していけば完璧なものとなる。また同時に、今回のコミュニティバスのルートを白紙にしてしまうと、今後もっと大きな広域ルートへは繋がらない可能性がある。よって今回はこのルートを進めていくという方向に賛成する。

修正案賛成の討論 今回、栗山町政が2,500万円をかけて新調したバスは中型バスであり、車体が大きく道路沿いにある医療機関等の前に停車できない。また吉見ノ里駅通りも一般通行に支障がでることを考慮し、通行しない計画である。

町議会は、バスにはいったい何人くらい乗るのかについての社会実験の実施と、運行ルート等について、町民の意見を聞くよう決議したが、この決議の実行を反故にしたままバスの運行を始めようとしている。最初から町民の要望に沿っておらず、将来の持続性も全く担保されていない事業予算の執行は町政に禍根を残すため、一からの出直しを求める修正案に賛成する。

◎平成31年度田尻町国民健康保険特別会計予算の件

・8億6,969万円 【全会一致で可決】

◎平成31年度後期高齢者特別会計予算の件

・1億1,116万円 【全会一致で可決】

◎平成31年度介護保険特別会計予算の件

・7億5,248万円 【全会一致で可決】

◎平成31年度下水道事業特別会計予算の件

・7億9,357万円 【全会一致で可決】

令和元年6月議会の日程（傍聴可能なもの）

6日(木) 本会議（開会日）

7日(金) 本会議（第2日）

※6日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

10日(月) 総務建設常任委員会

11日(火) 文教厚生常任委員会

12日(水) 委員会予備日

19日(水) 本会議（閉会日）

いずれも午前10時から本庁舎3階 議場にて開催します。ぜひ傍聴におこしください。

議会新役員が決まりました

議長に大門久恭氏、副議長に金田裕治氏、監査委員に坂口実氏

令和元年第1回臨時議会が5月10日に招集されました。

今回は統一地方選挙後の初議会にあたり、議会の構成を整えるため、議長・副議長をはじめ、常任委員会等の各委員の選任や特別委員会の設置が審議されました。

議 長	大 門 久 恭	副議長	金 田 裕 治
-----	---------	-----	---------

総務建設常任委員会	Ⓐ坂口 実	Ⓑ小川雄司	金田裕治・東小夜子・中川達夫
文教厚生常任委員会	Ⓐ仁部順行	Ⓑ射場隆裕	吉開育子・大門久恭・原 明美
議会運営委員会	Ⓐ東小夜子	Ⓑ小川雄司	金田裕治・原 明美・射場隆裕
空港関連対策特別委員会	Ⓐ小川雄司	Ⓑ坂口 実	金田裕治・東小夜子・中川達夫
議会改革特別委員会	Ⓐ金田裕治	Ⓑ射場隆裕	仁部順行・吉開育子・小川雄司・東小夜子 中川達夫 大門久恭・原 明美・坂口 実
災害対策特別委員会	Ⓐ坂口 実	Ⓑ小川雄司	仁部順行・金田裕治・吉開育子・東小夜子 中川達夫・大門久恭・原 明美・射場隆裕
議会だより広報委員会	Ⓐ金田裕治	Ⓑ吉開育子	東小夜子・大門久恭・原 明美
監 査 委 員	坂口 実		
都市計画審議会	仁部順行・小川雄司・東小夜子・坂口 実		
浅草共有山組合会議	仁部順行・中川達夫・大門久恭・射場隆裕		
泉佐野市田尻町清掃施設組合議会	金田裕治・吉開育子・東小夜子・坂口 実		
泉州南消防組合議会	小川雄司・射場隆裕		
大阪広域水道企業団議会	原 明美		

※ Ⓐ委員長 Ⓑ副委員長

編集後記

いつも田尻町議会だより『たじりの風』をご愛読いただき、誠に有難うございます。

今回の119号より1年間、この新しいメンバーで編集を担当させていただきます。

4月の議会議員選挙により議員の顔ぶれも新しくなりました。今まで以上に地域の活性化となる政策の提案に努めるとともに、この議会だよりにおいても、議会の活動内容や町の施策について、より分かりやすく皆様にお伝えできるよう工夫してまいります。

これからも田尻町議会だより『たじりの風』をよろしくお願いいたします。

議会だより広報委員会
 委員長 金田 裕治
 副委員長 吉開 育子
 委 員 東 小夜子
 委 員 大門 久恭
 委 員 原 明美

